

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名 県立病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,409 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	601	65.9	79.5	74.4
療養	-	-	-	-
結核	6	43.8	37.7	30.9
精神	198	69.3	74.9	78.4
感染症	4	10.5	32.4	22.5
計	809	66.3	77.8	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.8	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	509,476,265	
標準財政規模(千円)	256,518,281	
財政力指数	0.42058	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	166.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.3
修正医業収益(千円)	17,201,711

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,812,628			
1 経常収益	23,935,926			
(1) 医業収益	17,565,302			
入院収益	12,129,842			
外来収益	4,755,582			
診療収入計	16,885,424			
その他医業収益	679,878			
(うち他会計負担金)	363,591			
(2) 医業外収益	6,370,624			
(うち国・都道府県補助金)	3,277,869			
(うち他会計補助・負担金)	1,506,024			
(うち長期前受金戻入)	1,326,233			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	876,702			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,708,349			
2 経常費用	23,383,838			
(1) 医業費用	21,973,167			
職員給与費	10,532,556	60.0	62.1	55.8
材料費	5,019,493	28.6	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,539,559	14.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,339,492	13.3	11.4	13.0
減価償却費	1,819,864	10.4	9.5	8.7
経費	4,525,885	25.8	22.7	19.7
(うち委託料)	2,417,809	13.8	12.6	12.6
研究研修費	43,318			
資産減耗費	32,051			
(2) 医業外費用	1,410,671			
(うち支払利息)	378,731	2.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	324,511			
損益				
経常損益	552,088			
純損益	1,104,279			
累積欠損金	1,345,502			
経常収支比率	102.4		101.9	102.5
医業収支比率	79.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.4		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,180,287
1 固定資産	24,038,075
(1) 有形固定資産	23,339,396
(2) 無形固定資産	4,799
(3) 投資その他の資産	693,880
2 流動資産	15,142,212
(1) 現金及び預金	7,756,654
(2) 未収金及び未収収益	7,245,932
(3) 貸倒引当金()	3,320
(4) 貯蔵品	142,946
3 繰延資産	-
負債合計	36,549,593
1 固定負債	25,502,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,285,753
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,216,463
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,210,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,519,498
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	576,762
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,932,714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,836,539
(1) 長期前受金	35,067,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	30,231,201
資本合計	2,630,694
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	852,975
(1) 資本金剰余金	870,580
(2) 利益剰余金	-17,605
負債・資本合計	39,180,287
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,831,729	1,869,615
資本勘定繰入	1,443,837	1,432,573
計	3,275,566	3,302,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名 すこやかシルバー病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,485 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	89.0	88.2	84.3
感染症	-	-	-	-
計	100	89.0	88.2	84.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	509,476,265	
標準財政規模(千円)	256,518,281	
財政力指数	0.42058	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	166.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.7
修正医業収益(千円)	579,083

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	808,222			
1 経常収益	808,222			
(1) 医業収益	579,083			
入院収益	498,184			
外来収益	80,899			
診療収入計	579,083			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	229,139			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	194,450			
(うち長期前受金戻入)	23,638			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	766,529			
2 経常費用	766,529			
(1) 医業費用	726,921			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	69,650	12.0	9.5	13.5
経費	657,271	113.5	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	39,608			
(うち支払利息)	36,708	6.3	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	41,693			
純損益	41,693			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.4		101.9	101.4
医業収支比率	79.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	24.1		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	80.1		89.3	66.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,180,287
1 固定資産	24,038,075
(1) 有形固定資産	23,339,396
(2) 無形固定資産	4,799
(3) 投資その他の資産	693,880
2 流動資産	15,142,212
(1) 現金及び預金	7,756,654
(2) 未収金及び未収収益	7,245,932
(3) 貸倒引当金()	3,320
(4) 貯蔵品	142,946
3 繰延資産	-
負債合計	36,549,593
1 固定負債	25,502,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,285,753
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,216,463
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,210,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,519,498
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	576,762
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,932,714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,836,539
(1) 長期前受金	35,067,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	30,231,201
資本合計	2,630,694
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	852,975
(1) 資本金剰余金	870,580
(2) 利益剰余金	-17,605
負債・資本合計	39,180,287
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,450	194,450
資本勘定繰入	108,181	108,181
計	302,631	302,631

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	敦賀市				
病院名	市立敦賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,092 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	330	69.8	75.4	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	51.5	-	-
計	332	69.7	75.0	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.2	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	64,264	
決算規模(千円)	44,627,785	
標準財政規模(千円)	16,556,231	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,888,920			
1 経常収益	8,734,066			
(1) 医業収益	7,133,669			
入院収益	4,380,731			
外来収益	2,116,884			
診療収入計	6,497,615			
その他医業収益	636,054			
(うち他会計負担金)	340,502			
(2) 医業外収益	1,600,397			
(うち国・都道府県補助金)	651,128			
(うち他会計補助・負担金)	486,136			
(うち長期前受金戻入)	333,366			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,854			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,147,722			
2 経常費用	7,953,233			
(1) 医業費用	7,519,957			
職員給与費	4,065,759	57.0	62.1	63.5
材料費	1,559,670	21.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	643,427	9.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	909,159	12.7	11.4	11.8
減価償却費	488,949	6.9	9.5	10.0
経費	1,365,131	19.1	22.7	21.7
(うち委託料)	713,462	10.0	12.6	12.2
研究研修費	22,069			
資産減耗費	18,379			
(2) 医業外費用	433,276			
(うち支払利息)	65,098	0.9	1.3	1.4
(3) 特別損失	194,489			
損益				
経常損益	780,833			
純損益	741,198			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.8		101.9	101.7
医業収支比率	94.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	99.4		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,767,811
1 固定資産	6,978,405
(1) 有形固定資産	6,745,598
(2) 無形固定資産	52,412
(3) 投資その他の資産	180,395
2 流動資産	4,789,406
(1) 現金及び預金	2,728,530
(2) 未収金及び未収収益	2,049,795
(3) 貸倒引当金()	11,903
(4) 貯蔵品	22,984
3 繰延資産	-
負債合計	8,723,955
1 固定負債	4,259,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,725,440
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,470,155
(7) リース債務	63,337
2 流動負債	1,165,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	426,468
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	279,415
(6) リース債務	28,453
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	411,153
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,299,880
(1) 長期前受金	10,572,474
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,272,594
資本合計	3,043,856
1 資本金	2,433,060
2 剰余金	610,796
(1) 資本金剰余金	120,781
(2) 利益剰余金	490,015
負債・資本合計	11,767,811
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.3
修正医業収益(千円)	6,793,167

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	855,327	826,638
資本勘定繰入	249,762	256,516
計	1,105,089	1,083,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	坂井市				
病院名	坂井市立三国病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	105	79.4	74.3	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	79.4	74.3	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		25.1	21.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	88,481	
決算規模(千円)	56,648,912	
標準財政規模(千円)	23,149,714	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	65.6

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,317,463			
1 経常収益	2,294,934			
(1) 医業収益	1,696,126			
入院収益	1,022,534			
外来収益	535,306			
診療収入計	1,557,840			
その他医業収益	138,286			
(うち他会計負担金)	56,130			
(2) 医業外収益	598,808			
(うち国・都道府県補助金)	113,402			
(うち他会計補助・負担金)	453,576			
(うち長期前受金戻入)	2,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,529			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,168,265			
2 経常費用	2,143,384			
(1) 医業費用	2,025,803			
職員給与費	1,153,120	68.0	62.1	67.4
材料費	223,509	13.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	103,345	6.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,679	5.5	11.4	8.8
減価償却費	178,874	10.5	9.5	10.7
経費	466,123	27.5	22.7	29.2
(うち委託料)	223,757	13.2	12.6	13.9
研究研修費	4,177			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	117,581			
(うち支払利息)	44,447	2.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	24,881			
損益				
経常損益	151,550			
純損益	149,198			
累積欠損金	2,517,305			
経常収支比率	107.1		101.9	100.3
医業収支比率	83.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	3,310,872
1 固定資産	2,829,510
(1) 有形固定資産	2,791,188
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	38,322
2 流動資産	481,362
(1) 現金及び預金	150,658
(2) 未収金及び未収収益	325,537
(3) 貸倒引当金()	648
(4) 貯蔵品	5,815
3 繰延資産	-
負債合計	2,678,939
1 固定負債	2,104,887
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,104,887
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	457,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	248,257
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,422
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	142,425
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	116,599
(1) 長期前受金	142,777
(2) 長期前受金収益化累計額()	26,178
資本合計	631,933
1 資本金	3,149,238
2 剰余金	-2,517,305
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,517,305
負債・資本合計	3,310,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収益(千円)	1,639,996

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	318,306	509,706
資本勘定繰入	101,694	101,694
計	420,000	611,400

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	148.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	越前町				
病院名	国保織田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,216 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	86.8	89.1	83.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	86.8	89.1	83.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	12.0	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	20,118	
決算規模(千円)	17,836,686	
標準財政規模(千円)	7,663,352	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	303,802			
1 経常収益	303,802			
(1) 医業収益	36,294			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	267,508			
(うち国・都道府県補助金)	912			
(うち他会計補助・負担金)	94,192			
(うち長期前受金戻入)	22,386			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	297,295			
2 経常費用	297,057			
(1) 医業費用	136,613			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	92,481	254.8	9.5	11.7
経費	43,287	119.3	22.7	31.2
(うち委託料)	2,548	7.0	12.6	14.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	845	-	-	-
(2) 医業外費用	160,444			
(うち支払利息)	10,141	27.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	238			
損益				
経常損益	6,745			
純損益	6,507			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		101.9	100.3
医業収支比率	26.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	43.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	359.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	43.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	58.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,471,672
1 固定資産	1,210,766
(1) 有形固定資産	1,210,659
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	260,906
(1) 現金及び預金	258,930
(2) 未収金及び未収収益	1,976
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	854,231
1 固定負債	423,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	423,464
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	87,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,462
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,624
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	343,436
(1) 長期前受金	569,958
(2) 長期前受金収益化累計額()	226,522
資本合計	617,441
1 資本金	329,311
2 剰余金	288,130
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	288,130
負債・資本合計	1,471,672
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	94,646	130,486
資本勘定繰入	51,278	15,605
計	145,924	146,091

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	小浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,339 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	296	72.7	76.5	78.9
療養	50	79.0	81.4	91.6
結核	8	3.6	1.1	5.3
精神	100	75.9	80.9	80.7
感染症	2	83.3	0.7	-
計	456	73.0	76.3	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	15.7	15.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	6,405,472

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,454,900			
1 経常収益	9,315,898			
(1) 医業収益	6,579,752			
入院収益	4,223,328			
外来収益	1,911,254			
診療収入計	6,134,582			
その他医業収益	445,170			
(うち他会計負担金)	174,280			
(2) 医業外収益	2,736,146			
(うち国・都道府県補助金)	1,120,235			
(うち他会計補助・負担金)	663,184			
(うち長期前受金戻入)	46,134			
(うち資本費繰入収益)	205,478			
(3) 特別利益	139,002			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,681,659			
2 経常費用	8,542,655			
(1) 医業費用	7,299,237			
職員給与費	3,816,193	58.0	62.1	59.8
材料費	1,350,408	20.5	25.3	27.7
(うち薬品費)	612,740	9.3	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	607,043	9.2	11.4	12.4
減価償却費	482,879	7.3	9.5	8.2
経費	1,536,663	23.4	22.7	19.2
(うち委託料)	458,348	7.0	12.6	10.2
研究研修費	95,551			
資産減耗費	17,543			
(2) 医業外費用	1,243,418			
(うち支払利息)	150,274	2.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	139,004			
損益				
経常損益	773,243			
純損益	773,241			
累積欠損金	1,357,851			
経常収支比率	109.1		101.9	103.7
医業収支比率	90.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	99.2		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,565,033
1 固定資産	11,277,128
(1) 有形固定資産	10,900,258
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	368,039
2 流動資産	2,287,905
(1) 現金及び預金	753,076
(2) 未収金及び未収収益	1,485,273
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	43,614
3 繰延資産	-
負債合計	11,984,725
1 固定負債	7,427,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,414,568
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	12,622
2 流動負債	2,715,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	675,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,801
(6) リース債務	3,366
(7) 一時借入金	1,080,000
(8) 未払金及び未払費用	549,042
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,841,935
(1) 長期前受金	3,842,460
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,000,525
資本合計	1,580,308
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-1,568,837
(1) 資本金剰余金	404,508
(2) 利益剰余金	-1,973,345
負債・資本合計	13,565,033
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	849,041	837,464
資本勘定繰入	364,328	205,578
計	1,213,369	1,043,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	485,057	6.2
平成30年度	243,494	3.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	レイクヒルズ美方病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,562 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	42	76.0	83.9	82.6
療養	58	87.9	88.0	92.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	82.9	86.3	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		28.0	39.0	37.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.7
修正医業収益(千円)	757,982

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,114,170			
1 経常収益	1,108,366			
(1) 医業収益	757,982			
入院収益	589,286			
外来収益	148,324			
診療収入計	737,610			
その他医業収益	20,372			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	350,384			
(うち国・都道府県補助金)	8,117			
(うち他会計補助・負担金)	249,494			
(うち長期前受金戻入)	14,578			
(うち資本費繰入収益)	74,116			
(3) 特別利益	5,804			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,063,949			
2 経常費用	1,058,145			
(1) 医業費用	1,001,605			
職員給与費	607,415	80.1	62.1	67.4
材料費	108,170	14.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	67,340	8.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,100	4.9	11.4	8.8
減価償却費	40,116	5.3	9.5	10.7
経費	243,511	32.1	22.7	29.2
(うち委託料)	120,320	15.9	12.6	13.9
研究研修費	637			
資産減耗費	1,756			
(2) 医業外費用	56,540			
(うち支払利息)	22,789	3.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	5,804			
損益				
経常損益	50,221			
純損益	50,221			
累積欠損金	916,156			
経常収支比率	104.7		101.9	100.3
医業収支比率	75.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,565,033
1 固定資産	11,277,128
(1) 有形固定資産	10,900,258
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	368,039
2 流動資産	2,287,905
(1) 現金及び預金	753,076
(2) 未収金及び未収収益	1,485,273
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	43,614
3 繰延資産	-
負債合計	11,984,725
1 固定負債	7,427,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,414,568
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	12,622
2 流動負債	2,715,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	675,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,801
(6) リース債務	3,366
(7) 一時借入金	1,080,000
(8) 未払金及び未払費用	549,042
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,841,935
(1) 長期前受金	3,842,460
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,000,525
資本合計	1,580,308
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-1,568,837
(1) 資本金剰余金	404,508
(2) 利益剰余金	-1,973,345
負債・資本合計	13,565,033
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,138	249,494
資本勘定繰入	51,842	80,116
計	293,980	329,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	485,057	6.2
平成30年度	243,494	3.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立丹南病院組合				
病院名	丹南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,070 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	175	62.1	72.3	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	60.7	70.7	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.4	12.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	404,038			
1 経常収益	404,038			
(1) 医業収益	175,771			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	175,771			
(うち他会計負担金)	175,771			
(2) 医業外収益	228,267			
(うち国・都道府県補助金)	1,035			
(うち他会計補助・負担金)	29,830			
(うち長期前受金戻入)	111,037			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	373,928			
2 経常費用	352,769			
(1) 医業費用	325,641			
職員給与費	2,542	1.4	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	282,826	160.9	9.5	10.7
経費	40,273	22.9	22.7	29.2
(うち委託料)	5,050	2.9	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	-	-	-	-
(2) 医業外費用	27,128			
(うち支払利息)	14,732	8.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	21,159			
損益				
経常損益	51,269			
純損益	30,110			
累積欠損金	2,096,804			
経常収支比率	114.5		101.9	100.3
医業収支比率	54.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	50.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	117.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	50.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	56.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,892,833
1 固定資産	4,637,179
(1) 有形固定資産	4,637,179
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	255,654
(1) 現金及び預金	253,517
(2) 未収金及び未収収益	2,137
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,766,517
1 固定負債	908,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	908,863
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	441,516
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	438,626
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,890
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,416,138
(1) 長期前受金	2,128,774
(2) 長期前受金収益化累計額()	712,636
資本合計	2,126,316
1 資本金	746,619
2 剰余金	1,379,697
(1) 資本金剰余金	3,476,501
(2) 利益剰余金	-2,096,804
負債・資本合計	4,892,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	206,468	205,601
資本勘定繰入	109,556	109,556
計	316,024	315,157

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1192.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。